

特集

クラブ内研修を行っているクラブ

日常生活の「フェアプレイ宣言」で地域を元気に

～みやまスポーツクラブ(京都府南丹市)～

京都府にある「みやまスポーツクラブ」では、日本体育協会が提唱する“フェアプレイ宣言”に基づいた研修を行っています。スポーツをしている時だけではなく、日常生活の中で行える「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」のフェアプレイ行動による、明るく元気な街づくりの取り組みをクローズアップしました。

♂ キーポイント

★ 身近にある“フェアプレイ”の重要性

1 クラブ概要

みやまスポーツクラブは、以前、旧村(小学校区)単位のサークルなどで活動していましたが過疎化や少子高齢化が進むにつれて活動に必要な人数が集まらずに競技を実施できないなどの悩みがありました。しかし一方では、スポーツ活動や文化活動をしたいという声もあり、南丹市体育協会美山支部で協議した結果、体育指導委員や地域のスポーツ少年団、地域振興会などから委員を選出した、総合型クラブ設立のための準備委員会が発足しました。

当クラブは絆づくり、人事育成、地域の活性化を理念とし、ことしで設立3年目を迎えました。11種目のスポーツ教室、トップアスリートを迎えてのスポーツ研修(年1回)や、クラブ広報誌の発行(年2回)、スポーツのつどい(教室)カレンダーの発行(年4回)などを主に行っています。

2 身近にある“フェアプレイ”の重要性

みやまスポーツクラブの会長である村田正夫さんが指導者研修会や日本体育協会のリーフレットなどで目にした「フェアプレイで日本を元気に、あくしゅ、あいさつ、ありがとう」のフェアプレイ宣言に共感、クラブの指導者、スタッフと共に学びフェアプレイ宣言をしようということで研修会が開始されました。

研修会では、講師として公益財団法人京都府体育協会主事の橋本浩司さんを招きフェアプレイ宣言について講義をしていただきました。また、そのほかにも総合型クラブの全体像についてクラブアドバイザーの畑由紀子さん、クラブ運営での失敗から学ぶ組織のあり方について同じくクラブアドバイザーの石原智子さんの講義も行い、改めて総合型クラブのあり方について学ぶ機会の場としても活用しています。

具体的な研修の内容としては、日本体育協会が提唱するフェアプレイ宣言、フェアプレイ7か条についての共有や、実際にスポーツの現場で起きた行動としてのフェアプレイのエピソードの紹介、そして「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」この3つの大切さについての講演です。

参加者には「フェアプレイ」という言葉はスポーツ競技の中でのみ使われると思っていた方が多く、参加者から講演後には、「日常生活の中で、『フェアプレイ』をいかに実践していくかを研修で学びました。どんな場面でも『あくしゅ、あいさつ、ありがとう』を忘れずに、人とのつながりを大切にすることが大事だと分かりました」という意見や「お隣さんとの『あいさつ』もフェアプレイのひとつ。そのことを心がけ、地域ぐるみで元気でいたい」などの感想が寄せられました。

研修会には30名が参加し、研修会終了後は全員でフェアプレイ宣言も行いました。その後も、内容に感銘したとのメールが京都体育協会に届くなど、とても有意義な研修会となったようです。今後は、この「フェアプレイ宣言」を地域の子供たちに知ってもらえる機会を作り、研修会を実施していく予定です。

3 今後の展望

現在、高齢化現象の中にある地域において、どのようなスポーツの取り組みをすべきか、また、どのようにして会員数を増加させるかを明確にすることが今後の課題です。

11種目によるスポーツ教室の活動の中、会員の構成年齢の幅を広げ、住民相互の交流と健康維持に役立つクラブでありたいと思っています。また、誰もが気軽にいつでもスポーツや文化活動に参加できる場を作ることにより、地域住民の憩いと親睦を図り、健康で活力ある地域づくり、生涯スポーツ社会の実現につながることを期待できます。美山町を愛し、町の地域資源を生かした活動で、美山町らしさを忘れない素晴らしい夢を語れるクラブになっていけると考えています。



みやまスポーツクラブ活動の様子



フェアプレイ宣言の講習会

(京都府クラブアドバイザー 石原智子)

クラブプロフィール

設 立：平成24年3月27日

地 域：京都府南丹市

会員数：400名（平成26年6月時点）

予算規模：350万円（平成26年度）

連絡先：〒601-0797 南丹市美山町島島台51

南丹市教育委員会社会教育課

TEL：0771-68-0044 E-Mail：miyaspo@kyoto.zaq.jp